

○令和7年1月10日 環境建設委員会の第3回現地視察を行いました。

県議会の各委員会では、閉会中の委員会活動として、毎年テーマを定めて現地視察を行い、関係者から御意見等を伺っております。

環境建設委員会では、今年度のテーマを「カーボンニュートラルの推進について」「河川砂防・下水道・港湾行政について」と定めており、今回4カ所の現地視察を行いました。

まず、四国ガス株式会社高松工場（高松市朝日町）を訪問し、天然ガスの高度利用促進や高効率・高付加価値ガスシステムの開発・普及拡大など脱炭素への取組について説明を受け質疑を行った後、LNG（液化天然ガス）貯蔵・受入れ設備等の視察を行いました。



次に、高松港港湾環境整備事業〔玉藻地区〕（高松市玉藻町）の工事現場を訪問し、安全で快適な歩行空間確保や海辺のにぎわい空間創出に向けた緑地（キャッスルプロムナード）整備等について説明を受け、質疑を行いました。



次に、大部港〔離島港湾メンテナンス事業〕（小豆郡土庄町大部）の工事現場を訪問し、島しょ部の物流に重要な役割を担う大部港の物揚場の老朽化対策事業について説明を受け、質疑を行った後、現場の視察を行いました。



次に、小川東川〔離島砂防事業〕（小豆郡小豆島町池田）の工事現場を訪問し、土石流から人家や公共施設等を守るため設置する砂防堰堤の整備状況について説明を受け、質疑を行った後、現場の視察を行いました。

